

仁淀川地域アクションプランの進捗状況等について

(第3四半期)

仁淀川地域アクションプランの進捗状況等

H 2 9 . 2 . 7
仁淀川地域本部

1 地域アクションプランの平成 28 年度（第 3 四半期）の実施状況（総括）

(1) 総評

全 36 のプランについて、実行支援チームを編成、事業推進に向けた協議と進捗管理を実施し、それぞれの地域アクションプランに掲げた本年度到達目標の達成を目指して取り組みを進めている。

事業のさらなるステップアップや課題を抱えている案件について、人材育成の講座への誘導、アドバイザーの派遣、各種補助金の活用など、場面に応じた支援事業を導入し、関係機関と連携した具体のサポートを実施している。

特に、産振総合補助金を活用して平成 26 年 11 月にリニューアルオープンした日高村の直販所「村の駅ひだか」については、開店以降集客、売上ともに好調で、集荷体制の整備、商品の品揃えや加工品の開発など、売上目標の達成を目指した取り組みを進めている。

農業分野では、農事組合法人ヒューマンライフ土佐が、こうち農業確立総合支援事業費補助金を活用したショウガ・ダイダイの乾燥・調製等の施設整備を行ったほか、(有)吉本乳業が産振総合補助金の活用により牛乳製造設備の機能強化を行い、衛生管理の高度化や販路拡大の取り組みを進めることとなった。また、(株)フードプランにおいては、産振総合補助金の活用による新工場整備や関連企業・団体と連携した事業展開を検討するなど、増加するカット野菜の取引需要に対応しうる生産体制の強化と地域産業クラスターの形成に向けた取り組みを進めている。

林業分野では、平成 28 年 4 月、CLT 用ラミナ及び家庭用品や建築用の板材を製造するための大型製材工場の完成により製品流通の拡大に向けた体制が整い、機械調整を行いながら生産量を上げている。

水産分野では、企業組合宇佐もん工房が、産振総合補助金を活用して加工施設を整備することとなり、衛生管理の高度化や生産性の向上によるさらなる販路拡大に期待が高まっている。

また、本年 3 月の「志国高知 幕末維新博」の開幕に向けて、地域会場となる紙の博物館及び青山文庫（歴史資源）の磨き上げを図るとともに、これら地域会場を中心とする観光クラスターを形成し、観光に携わる事業者同士の連携体制の構築と周遊促進を図るための「観光クラスター整備計画」を策定し、将来にわたり全国からの誘客を図りうる観光地づくりを進めている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 薬用作物の産地拡大による所得の向上（仁淀川町、佐川町、越知町、日高村）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・農事組合法人ヒューマンライフ土佐</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>薬用作物の作付面積（ヒューマンライフ土佐）</p> <p>ミシマサイコ：70ha<H27:55ha></p> <p>サンショウ：80ha<H27:73ha></p> <p>ダイダイ：30ha<H27:28ha></p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[H28 到達目標]</p> <p>ミシマサイコ : 56ha サンショウ : 70ha ダイダイ : 30ha</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミシマサイコ慣行品種発芽状況の確認 (3回) ・ミシマサイコ2年株専用品種調査圃場設置 (6/24)、生育調査 (9/6、10/7、11/4)、種子および根収量調査 (12~1月) ・ヒューマンライフ土佐総会 (6/2) ・こうち農業確立総合支援事業費補助金を活用した施設整備 (ショウガ・ダイダイの乾燥・調整設備等) (4/22 交付決定)、ダイダイ (枳実) 乾燥機の整備完了 (7/13 納入検査)、ショウガ選別貯蔵施設及び乾燥・調整設備 (7月上旬着工、10/20 完成検査) ・(株)ツムラ CSR 活動「土佐ツムラの森」協働の森づくり事業を、(株)ツムラ、ヒューマンライフ土佐、越知町、県の協働により実施 (3回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミシマサイコ2年株専用品種への移行 ⇒現地実証圃等を利用した、2年株専用品種の栽培技術確立のための支援
<p>■NO.7 生姜の増産と加工品の生産拡大 (土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)前川博之商店</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>生姜加工品の販売額 : 200,000 千円 < H26 : 40,946 千円 ></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>生姜加工品の販売額 : 80,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産農家との打合せ会 ・生協関係者との現地検討会 ・商談会への参加 ・生姜加工の取り組みに関する協議 : 3回 ・生姜加工品の販売額 (H27.10~H28.9月) : 41,660 千円 (前年比 101.7%) (H28.10~11月) : 10,507 千円 (前年同期比 171.6%)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工用原料の安定確保 ⇒生姜栽培面積の拡大に向けて生産者との勉強会等を実施 ⇒農業生産法人よさこいファーム(自社)と幡多地域の農業者との連携を検討
<p>■NO.8 いの町での生産等加工品製造施設の整備と販売促進(いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 西村青果株 	<p>[目標(H31)]</p> <p>生姜等加工品の販売額:3.6億円<H26:3.4億円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>生姜等加工品の販売額:3.45億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内取引農家との打合せ:143回 大手食品会社とのにんにく・生姜にかかる取引協議:1回 生姜等加工品の販売額(H27.10~H28.9月):約5.31億円 (前年比約156%) (H28.10~11月):約0.86億円 (前年同期比約91.5%) いの町内生姜生産農家からの加工品用生姜仕入高 (H27.10~H28.9月):約87.6t (H28.10~11月):約92.4t 生姜の5割減農薬栽培グループ「高知まるひら会」(主宰)の勉強会実施(9月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産体制の維持及び販売強化 ⇒大手食品会社等の取引先との連携強化 原材料となる生姜の安定的な調達 ⇒生姜生産農家及び高知県園芸連との信頼関係の構築による取引の継続

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.9 本川きじの販路拡大 (いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本川手箱きじ生産企業組合 ・ いの町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額 : 13,580 千円 <H26 : 4,913 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額 : 11,800 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本川手箱きじ生産企業組合のHP開設 (4月) ・ 県内PRイベントへの参加 : 13回 ・ (株)イーフィールド(名古屋市内で居酒屋・レストラン他経営)、サニーマート、地産外商公社東京事務所による視察への対応 ・ サニーマートでの取扱開始(きじ肉入り鶏団子、年末カタログによる鍋セット) ・ 県版HACCP取得(H28年度内)に向けた取り組み(HACCP研修への参加、HACCPアドバイザーによる申請書類の作成指導及び現地指導) ・ 県版HACCP第2ステージ認証申請(H29.1月) ・ 都内飲食店と高知市内直販所で新たに取引開始(3件) ・ 大口契約先のニーズ(求められる個体(1.2kg:雄相当))に対応した生産体制で生じる余剰在庫(1.2kgに満たない雌等の小さいきじ)の販売先(木の香、山荘しらさ)を確保 ・ 販売額(11月末):7,881千円(前年同期比131.3%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 営業力の強化による販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ サンプル送付先への後追い営業などによる新規取引先の確保 ・ 県版HACCP第3ステージの認証取得 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ HACCPアドバイザー等の活用により、解体場及び加工場における衛生上必要な設備等改修箇所洗い出しと、改修に向けた資金計画の検討 ・ 本川手箱きじ生産企業組合の運営体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 定例会を活用した連携体制の強化 ⇒ 在庫管理及び原価計算の適正化による経常利益の向上

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 12 仁淀川流域における林業・木材産業の振興(仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林組合 ・林業事業者 ・素材生産業者 ・製材業者 ・自伐林家等 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>原木生産量：12.0 万 m³<H26:8.0 万 m³></p> <p>製材工場原木利用量：5.0 万 m³<H26:1.7 万 m³></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>原木生産量：9.0 万 m³</p> <p>製材工場原木利用量：2.3 万 m³</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村・事業者等林業関係担当者会の開催 (5/17) ・増産に向けた事業者への聞き取り調査 (2 森林組合、10 事業者) ・森林経営計画・森の工場作成支援 (6 町、11 事業者) ・大型製材工場の進捗管理及び指導 (8 回) ・管内森林組合の事業進捗管理及び経営指導 (高知中央森組 9 回、仁淀川森組 9 回) ・森林組合の作業システム改善指導 (高知中央森組 3 回、仁淀川森組 1 回) ・仁淀川町森林管理推進協議会 (7/19) ・仁淀川町森林管理推進協議会の先進事業者視察(大分県森林組合連合会、9/27~9/28) ・仁淀川流域森林管理システム(モデル事業)の検討(6 回) ・佐川町森林 ICT プラットフォーム構築意見交換会(4 回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増産に向けたさらなる施業地の確保 ⇒市町村との連携による森林情報の収集・提供 ・森林組合の経営改善 ⇒関係各課と林業事務所で構成される支援チームによる経営及び技術指導の実施 ・木材の需給調整を担う組織(仮称：森林管理センター)の構築と人材の確保 ⇒森林管理及び川上・川下の需給調整を一体的に進めるため、仁淀川森林管理推進協議会との連携による新たな組織づくり、人材育成、森林資源情報の把握及び施業地の集約化を実施
<p>■No. 13 地域性の高い特用林産物の生産拡大(仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>シキミ・サカキ生産量：17 t <H27:0.0t></p> <p>マッシュルーム出荷量：22 t <H26:14.3t></p> <p>原木まいたけ生産量：0.6 t <H27:0.1t></p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
特用林産物生産団体 ・原木まいたけ；いの町越裏門・寺川地区 ・マッシュルーム；によどマッシュルーム生産組合 ・シキミ・サカキ；越知町及び同町野老山地区	[H28 到達目標] シキミ・サカキ生産量：1 t マッシュルーム出荷量：14t 原木まいたけ生産量：0.26 t [取組状況] <シキミ・サカキ> ・生産者への指導（4回） ・生産状況聞き取り調査（いの町1回、仁淀川町1回） ・生産体制構築協議（越知町3回） ・中央西地区シキミ・サカキ部会（1回） <マッシュルーム> ・生産者への指導（7回） ・試験研究機関との協議及び共同研究（4回） ・出荷量（11月末）：8.3 t（前年同期比117%） <原木まいたけ> ・生産者への指導（4回） ・試験研究機関との協議及び共同研究（4回） ・流通販売支援協議（越裏門寺川まち支部3回） ・イベントの開催及び普及啓発（氷室まつり、まいなばざんまいツアー、都市緑化祭） ・原木まいたけ完熟ほだ木の販売開始（8/10～8/17、100個限定） ・集落活動センター「氷室の里」の落成に伴い拠点施設及び栽培施設が整い、本格栽培が開始 ・種菌メーカーとの協議（1回） ・生産量（11月末）：0.1 t（前年同期比100%） [課題と今後の対応] <シキミ・サカキ> ・生産者不在、市場ニーズとの相違及び費用対効果により、越知町での取り組み継続を断念 ⇒支援町村及び支援内容の再検討 <マッシュルーム> ・培養基材の供給が不安定 ⇒マッシュルームの栽培規模を現状維持とし、新たに原木きくらげ栽培を開始 ・マッシュルームの品種改変に伴う栽培技術の向上 ⇒森林技術センターと連携した技術指導を継続

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化(佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町 ・自伐型林業に取組む個人・団体 	<p>[目標(H31)]</p> <p>林業関連新規就業者数: 24人(H28~31累計) <H27:5人></p> <p>山林の集約化面積: 400ha(H28~31累計) <H27:0ha></p> <p>ものづくりと連携した起業家: 3人(H28~31累計) <H27:0人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>林業関連新規就業者数: 6人 山林の集約化面積: 100ha ものづくりと連携した起業家: -</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民向けの自伐型林業研修開催(4回、参加者延べ37人) ・地域おこし協力隊採用 9人(自伐5人、ラボ4人) ・佐川町森林ICTプラットフォーム構築意見交換会(4回) ・さかわ発明ラボの開所(4/1) <ul style="list-style-type: none"> オープンラボ(7回) ワークショップ(6回) 学校教育との連携(6回) ・さかわ発明キャンプの開催(地域おこし協力隊の募集) ・土地所有者へのアンケート調査実施(約200件) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山林の集約化 ⇒土地所有者へのアンケート調査結果をもとに、佐川町森林長期施業管理契約締結の推進 ・自伐型林業のビジネスモデルづくり ⇒地域おこし協力隊の採用・育成と自立化 ・さかわ発明ラボの運営体制の確立 ⇒地域おこし協力隊(発明職)の採用、運営体制構築の検討 ⇒事務所移転によりラボ機能を集約整備

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 15 宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業組合宇佐もん工房 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>うるめ商品の販売額：100,000千円<H26：61,550千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>うるめ商品の販売額：96,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一本釣りうるめ祭りの開催(5/15～5/31)： <ul style="list-style-type: none"> 参加店舗数 18 店舗 ・イメージキャラクター「うるえもん」を活用した「うるめマップ(土佐市内のうるめ料理提供飲食店 11 店舗の紹介)」でのシールラリーの実施(有効期限 H29.12 月末) ・売上向上に向けた協議(加工施設の増改築等に係る産振総合補助金活用に向けた検討を含む)：16 回 ・加工施設の増改築(11 月着工、H29.3 月完成予定) <ul style="list-style-type: none"> →原材料の安定確保に向けた体制強化と衛生管理の向上及び加工作業の効率化を実現(予定) ・商談会、イベントへの出展：3 回 <ul style="list-style-type: none"> 商談件数：36 件 新規取引先数：8 件 ・ベンチャー企業育成支援事業の活用(ビジネスプランの作成) ・うるめ商品の販売額(11 月末)：52,774 千円 (前年同期比 95%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料の安定確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒漁協や漁師との連携による原材料の調達力強化 ・販路拡大及び販売促進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒県版 HACCP 第 2 ステージ認証の H29 年度中の取得に向け、加工施設の増改築完成後、社内に HACCP チームを編成し取り組みを推進 ⇒「宇佐の一本釣りうるめ」の認知度向上に向け、「一本釣りうるめ祭り」、「うるめいわしシールラリー」を継続して開催
<p>■No. 17 「土佐和紙」の販売促進と保存・継承(土佐市、いの町、仁淀川町、日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手すき和紙協同組合 ・高知県製紙工業会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>土佐和紙の販売額：4.8 億円(機械すき 4.4 億円、手すき 0.4 億円)<H26：4.8 億円(機械すき 4.4 億円、手すき 0.4 億円)></p> <p>手すき和紙協同組合加入の事業体：31 事業体<H27：31 事業体></p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・いの町紙の博物館</p>	<p>[H28 到達目標]</p> <p>土佐和紙の販売額：4.8 億円 (機械すき 4.4 億円、手すき 0.4 億円)</p> <p>手すき和紙協同組合加入の事業者：31 事業者</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Kami 祭実行委員会 (いの通信局チーム会) の開催：7 回 ・ Kami 祭開催 (11/23) ・ 土佐和紙関係者意見交換会の開催 (いの町産経課、紙の博物館、手すき和紙協同組合、高知県製紙工業会、高知県工業振興課、地域本部)：2 回 ・ 産業振興アドバイザー制度の活用 (紙博売店の魅力ある店づくり)：3 回 ・ 紙の博物館内における体験メニューの提供 (5/3～5/5) 利用者数：ちぎり絵約 100 人、マーブリング 34 組、和紙缶バッジ約 50 人、リングノート 30 人 (8/11～8/14) 利用者数：マーブリング 78 人、和紙缶バッジ 94 人 (8/6、8/7、8/13、8/14、8/21、8/27、8/28) 利用者数：折り紙 183 人 (11/23) Kami 祭 利用者数：ちぎり絵 30 人 (色紙 8 人、はがき 22 人)、ガーランド 20 人、ミニぞうり 4 人、紙のぼち袋 8 人、紙のブレスレット 9 人、紙の椿 6 人、リングノート 29 人、マーブリング 19 人、缶バッジ 32 人、手すき絵馬体験 15 人 ・ 土佐和紙に関するお問い合わせ受付窓口 (紙の博物館内) の対応：16 件 ・ 県歴史観光資源等強化事業費補助金の活用による紙の博物館の店舗改修 (H29.1 月着工、2 月完成予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 志国高知幕末維新博の地域会場である紙の博物館への集客と土佐和紙商品の販路拡大 ⇒紙の博物館売店の魅力ある店舗づくり (店舗レイアウトの変更、商品構成の見直し、職人・生産者の顔の見える売り方)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 20 地域産品を活用した冷菓等の製造販売 (いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(有)高知アイス</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>冷菓等の販売額 : 4.5 億円 < H26 : 3.75 億円 ></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>冷菓等の販売額 : 4 億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県外、海外 (台湾、ハワイ、タイ、シンガポール) での商談会、プロモーション活動 (9 月末) : 16 回 ・ ハワイ商談件数 30 件、受注数 30 件 ・ 国内外の販路拡大に向けて産振総合補助金や経営革新支援事業の活用を検討・協議 : 12 回 ・ 高知県産の素材を活かした新商品 (吉本乳業のコーヒー牛乳もなかとミレービスケットのアイス) 発売 (11 月) ・ 売店 2 号店 (高知市永国寺) の開設 (11/19 オープン) ・ 県版 HACCP 取得に向けた HACCP 研修の受講 (10 月) ・ 県版 HACCP 第 3 ステージ認証申請 (12 月) ・ 全体の販売額 (H28. 1~11 月) : 3.88 億円 (前年同期比 119.1%) <p>(内訳)</p> <p>海外での卸販売額 : 0.44 億円 (前年同期比 180.7%)</p> <p>海外での催事販売額 : 0.1 億円 (前年同期比 138.3%)</p> <p>国内販売額 : 3.08 億円 (前年同期比 113.6%)</p> <p>売店販売額 : 0.25 億円 (前年同期比 110.3%)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外での販路拡大 ⇒ 関西圏及び名古屋の販路開拓 ⇒ もなかアイス用三方シーラーの導入やドリンクの製造ライン増設による生産体制の拡充、売店施設の拡充 (テラス部分を室内部屋に改修及び倉庫の機能強化) (H29 産振総合補助金を活用予定) ⇒ TV、新聞等での広報・宣伝活動 ・ 県版 HACCP の取得 ⇒ 県版 HACCP 第 3 ステージ申請に係る工場の現地確認への確実な準備・対応

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 21 (株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大(仁淀川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)フードプラン ・仁淀川町 ・庭先集荷の農家 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額：7.6億円<H26:4.7億円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額：6.0億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新工場整備計画等に基づく関係者協議の定期開催：13回(クラスター化を見据えた農業生産及び他業種連携の検討、設備投資にかかる財源確保、資金計画の精査等) ・クラスタープランを構成する「おでんによる流域観光振興」の取り組みPR等のため、仁淀川町のスポーツイベントでおでんの試食を実施 ・業務用商品相談会において野菜の端材を活用した加工品の商品化について相談、市場対応商品開発等事業費補助金の活用を検討 ・販売額 (H27.10～H28.9月)：5.6億円(前年比121%) (H28.10～11月)：1.0億円(前年同期比109%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増加する取引需要に対応できる加工施設の整備 ⇒本年度末の産振総合補助金審査会に向け協議を加速 ⇒県版 HACCP 第2ステージ(H29年度)及び第3ステージ(H30年度)取得に向けた一般衛生管理研修の実施等 ・県内産野菜確保の仕組みづくり ⇒仁淀川町役場の支援を得ながら、町内を中心に、原材料となる野菜の生産体制を構築(耕作放棄地を活用した新規営農、法人設立等を視野に入れた農業生産の検討)
<p>■No. 22 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進(佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町 ・JA コスモス ・地元農家 ・地元酪農家 ・佐川町商工会 ・地元商工業者 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>牛乳類商品販売額：1.3億円<H27:0.86億円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>牛乳類商品販売額：0.92億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さかわの地乳プロジェクト推進会議の開催(11回) ・産業振興アドバイザー制度の活用による「第2回さかわ地乳まつり」の企画及び検証(3回) ・イベントの開催及び普及啓発(さかわ地乳まつり) ・地乳みるく坦々うどんの提供開始：4店舗

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・(有)吉本乳業</p>	<p>牛乳加工施設の整備及び販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛乳類商品販売額 (H27.8～H28.7月) : 1.3 億円 (前年比 102.3%) (H28.8～11月) : 41,884 千円 (前年同期比 95.7%) ・旭食品(株)2016 四国・中国・九州地区秋冬新商品発表会に出展 ・事業計画に係る協議 (1回) ・産振総合補助金活用に係る関係者協議 (16回) ・HACCP 研修 (1回)、土佐 MBA「経営戦略入門」(1回)への参加 ・HACCP アドバイザーによる現地指導 (1回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地乳のブランド力向上 ⇒地乳プロジェクト推進会議の組織体制および事業内容の再検討 ・地乳増産体制の確立及び衛生管理体制の強化 ⇒産振総合補助金の活用によるさかわの地乳製造施設の整備 (12/26 採択) ⇒県版 HACCP 第2ステージ (H28年度) および第3ステージ (H29年度) 取得に向けた社内体制の構築
<p>■No. 23 柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大 (越知町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)岡林農園</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>岡林農園の販売額 : 1.8 億円 <H26 : 1.4 億円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>岡林農園の販売額 : 1.75 億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡林農園の販売額 (H27.9～H28.8月) : 1.93 億円 (前年比 133.1%) (H28.9～11月) : 58,770 千円 (前年同期比 145.6%) ・県版 HACCP 取得に向けた研修への参加 (1回) 及び現地指導 (1回) ・ディスカバー農山漁村の宝 (農林水産省) に選定 (10/17) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営改善 ⇒業務用及び海外部門の販売拡大による経営改善の推進

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 24 ネコ砂 (木質系排泄物処理剤) の生産・販売促進 (日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)エスエス 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>ネコ砂 (木質系排泄物処理剤) の販売額 : 90,000 千円 <H26 : 46,760 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>ネコ砂 (木質系排泄物処理剤) の販売額 : 70,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日産 350~400 ケースで月産 (25 日稼働) 10,000 ケースを目指した生産体制の整備 (パート雇用 : 2 名増、オガ粉 (原材料) の仕入先 : 1 件増) 生産量 (10 月末) : 日産 470~510 ケース 月産 11,500~12,800 ケース ・(株)コスモ工房の竹製品製造過程で発生する竹くずを一部の商品の原料に混ぜてテスト使用 (9~11 月) し、経年変化を確認中 ・販売額 (H27.9~H28.8 月) : 66,397 千円 (前年比 142%) (H28.9~10 月) : 11,470 千円 (前年同期比 130%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネコ砂の安定的な生産体制の構築 ⇒OEM 先のアース・バイオケミカル(株)との連携強化 ・OEM 先の新商品の開発 ⇒竹くず単体での商品開発も視野に入れ原料調達に向けて(株)コスモ工房との連携体制を構築
<p>■No. 25 「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化 (日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高村 ・(株)村の駅ひだか 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>直販市の販売額 : 200,000 千円<H26 : 104,382 千円> フットパス等体験観光客数 : 400 人<H26 : 241 人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>直販市の販売額 : 200,000 千円 フットパス等体験観光客数 : 280 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村の駅ひだか運営等検討会 (商品・月別売上分析や取組内容の検討等) の開催 : 9 回 ・庁内プロジェクト会議 (進捗確認や課題整理及びスケジュール確認等) の開催 : 2 回 ・H26.11 月オープン以来の来客者数 (レジ通過) 30 万人達成 (5/17) 及び 40 万人達成 (11/18) ・来客者数 (レジ通過) (11 月末) : 139,926 人 (前年同期比 107%) ・直販市の販売額 (11 月末) : 146,041 千円 (前年同期比 114%)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・フットパス等体験観光客数(11月末):26人 (前年同期比39%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販市の機能強化及び観光情報の発信 ⇒商品の集荷体制の確立 ⇒店舗の狭隘への対応(地方創生拠点整備交付金及び県観光拠点等整備事業の活用を検討中) ⇒特産品生産者(生活改善グループ)の高齢化に伴う後継者づくり ⇒村内の観光資源の整備(案内看板、調整池遊歩道整備に関する許可、観光PR用のDVD、HP作成委託の検討)
<p>■No.26「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進(仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)仁淀ブルー観光協議会 ・土佐市 ・いの町 ・仁淀川町 ・佐川町 ・越知町 ・日高村 ・いの町観光協会 ・仁淀川町観光協会 ・(一社)さかわ観光協会 ・越知町観光協会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>仁淀ブルー観光協議会関連のツアー客数:5,500人 <H26:4,153人></p> <p>主要宿泊施設の宿泊者数:72,000人<H26:65,410人> 主要観光施設の入込客数:276,000人<H26:216,458人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>仁淀ブルー観光協議会関連のツアー客数:4,500人 主要宿泊施設の宿泊者数:61,000人 主要観光施設の入込客数:270,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、フェイスブック、ツイッターによる情報発信 ・セールス件数:48件(東京、大阪、名古屋、岡山、香川、愛媛エージェント、JR四国DCキャンペーン、高知県観光説明会)→新たなエージェント開拓件数:4件 ・物産観光PR:4回(東京海上、JR大阪駅、豊穰祭2ヶ所) ・高知銀行(仁淀川エリア)のノベルティグッズ製作を契機とした仁淀ブルーお土産品の開発(7月～) ・高知県トラック協会仁淀川支部とのコラボにより、トラック700台に仁淀ブルーステッカー(高橋宣之氏の画像)を貼り県内外で仁淀ブルーをPR(10/17PRトラック出発式開催) ・仁淀ブルーメールマガジン配信数:37本 ・一般社団法人仁淀ブルー観光協議会通常総会、理事会、観光担当者会の開催 ・仁淀ブルーブランド化事業ワークショップ:5回 ・ツアー送客数(12月末):3,886人(前年同期比130%)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要宿泊施設の宿泊者数 (11 月末) : 47,607 人 (前年同期比 96%) ・ 主要観光施設の入込客数 (11 月末) : 168,084 人 (前年同期比 105%) ・ 第二種旅行業登録完了 (12/16) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会構成団体間(事務局、市町村、観光協会、県(地域本部・地域観光課))のパートナーシップの強化 ⇒理事会や観光担当者会にて関係者による中長期計画の方向性の確認や実践に向けた協議を実施 ・ 仁淀ブルーをテーマにしたブランド化戦略の策定及び日本版DMOの構築に向けた関係者の合意形成 ⇒仁淀ブルーブランド化戦略の策定に向けた、域内の観光客の動態把握(アンケート調査)を踏まえた関係者によるワークショップの開催 ・ 観光施設、宿泊施設、食事施設、レジャー施設等の事業者や商工会、J A、森林組合、漁協などの仁淀川地域観光に携わる関係者が協議会のパートナーとして連携するという意識の醸成及び自主財源の確保 ⇒仁淀川地域観光に携わる人材の育成 ⇒市町村、観光協会と連携して仁淀川地域の観光施設、宿泊施設、食事施設等の事業者を訪問し、協議会活動への賛同者の獲得及び賛助会費の確保 ⇒仁淀川地域のお土産品や特産品の開発・販売
<p>■No. 27 観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土佐市 ・ 特定非営利活動法人新居を元気にする会など 	<p>[目標(H31)]</p> <p>施設来客者数 12 万人<H27:0 人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>施設来客数 7 万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新居地区観光交流施設「南風(まぜ)」落成式(4/24)、オープン(4/27) ・ 運営検討会: 10 回 ・ 移動販売の実施(12 月～) ・ 産業振興アドバイザー制度の活用(直販所の魅力ある店づくり): 1 回 ・ 直販所レジ通過者数(4/27～11 月): 24,137 人 ・ 直販所売上高(4/27～11 月): 18,219 千円 ・ 飲食店レジ通過数(4/27～11 月): 14,189 人 ・ 飲食店売上高(4/27～11 月): 15,104 千円

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設来客者数(9～11月): 18,777人 <ul style="list-style-type: none"> ※カウント開始: 9月～ [課題と今後の対応] ・交流人口を増加させるための仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ⇒観光案内、情報発信の強化 ⇒県道(土佐市、高知市)へ「南風(まぜ)」案内標識を設置予定(中央西土木事務所対応) ⇒(一社)仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客の受入や観光商品づくり ⇒観光体験メニュー(カヤック、BBQ等)の提供 ・観光交流施設「南風(まぜ)」(直販所・カフェ)の安定的な運営及び来客者等のニーズに合ったサービス・事業の展開 <ul style="list-style-type: none"> ⇒直販所の商品確保に向けた生産者への周知、集荷体制の整備、移動販売の実施、加工品の開発 ⇒品揃えの充実に向けた旬の商品などの仕入れの実施 ⇒飲食店の太平洋を臨むロケーションを活かした集客戦略の実践及び雇用の確保
<p>■No. 32 歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進(佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町 ・さかわ観光協会 ・佐川町内の地域づくり団体 	<p>[目標(H31)]</p> <p>上町地区への入込客数: 20,000人<H26:15,000人> 上町まち歩きガイド利用者数: 5,000人<H26:4,585人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>上町地区への入込客数: 21,250人 上町まち歩きガイド利用者数: 3,800人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐の観光創生塾への参加: 5回(2人) ・四国DCイベント参加によるPR活動: 1回 ・旧竹村呉服店改修完了及び出店者(使用者)決定 →10月から同施設の活用開始 ・青山文庫磨き上げ(リアル化)のため、高知県歴史観光資源等強化事業費補助金(7/25交付決定)を活用し、改修工事に着手(工期はH28.11～H29.2月を予定) ・維新博に向けた青山文庫展示物の検討 ・さかわ観光クラスター協議会を開催し、青山文庫リアル化事業に係る情報共有や、周遊コースの設定及び仕掛け等について協議(5回)。高知県歴史観光資源等強化事業費補助金(10/13交付決定)を活用し、観光クラスター形成の取り組みを推進 ・産振アドバイザー制度を活用し、旧浜口邸における上町地区の風情に合ったカフェメニューづくりの検討(3回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・上町地区への入込客数(11月末): 14,709人 (前年同期比 114.8%) ・上町まち歩きガイド利用者数(11月末): 2,740人 (前年同期比 111.7%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる誘客に向けたおもてなしの体制づくり ⇒歴史観光資源等強化事業費補助金の活用による青山文庫をはじめとした歴史資源の磨き上げ及びクラスターづくりの推進 ⇒旧浜口邸において、佐川の素材を活かし、上町地区の風情に合った食事メニューの提供
<p>■No. 34 体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化(越知町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越知町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>—</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <p>スノーピークを核としたアウトドア施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計の作成に向けた協議(4/20、6/7、9/6) (日ノ瀬および宮の前公園にセンターハウス、キャンプサイト、トレーラーハウス、カヌー・ラフト艇庫等の整備) ・観光拠点等整備補助金及び地方創生拠点整備交付金の活用に向けた観光振興部との協議(3回) ・キャンプ場の整備に向けた土木事務所との協議 ・スノーピークキャンプフィールド奥日田視察 (7/22、7/23) ・トレーラーハウスやスノーピークショップの見学 (9/15、16) ・スノーピーク山井社長との事業計画協議(7/22、9/15) ・用地取得に向けた所有者との交渉 ・町民等に事業の周知を図ることを目的に宮ノ前公園でアウトドアイベントを開催(11/3～11/6、約600人参加) ・基本計画最終報告(11/7) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30.4月オープンに向けた事業進捗 ・用地購入、移転交渉

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 35 「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化（日高村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高村 ・(株)屋形船仁淀川 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>乗船者数：4,500 人<H26：3,261 人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>乗船者数：4,100 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役場内プロジェクト会議による進捗確認や課題整理及びスケジュール確認等（2回） ・産振アドバイザーを活用した屋形船ガイド養成研修の開催：5回、ガイド候補者25人参加 ・「村のガイドひだか（屋形船、フットパス、ケービング等のガイド組織）」設立（9月） ・ガイド実践延べ人数（11月末）：55人 ・屋形船の乗船者数（11月末）：4,571人（前年同期比132%）（うちガイド付き乗船者数：495人） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の受入体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ⇒遊覧ガイドの養成・増員 ⇒（一社）仁淀ブルー観光協議会との連携強化 ⇒体験交流スペースや飲食コーナーを有する宿泊施設（地方創生拠点整備交付金の活用を検討中）、売店など観光拠点としての整備を検討 ⇒雨天時や冬期の体験メニューの企画・試行
<p>■No. 37 仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進（仁淀川町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁淀川町 ・(株)ビバ沢渡 ・町内の6次産業化に取り組む事業者 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>主要事業者の販売額 80,000 千円<H27：50,000 千円></p> <p>うち(株)ビバ沢渡の販売額 41,840 千円<H27：20,000 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>主要事業者の販売額 50,000 千円</p> <p>うち(株)ビバ沢渡の販売額 20,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>商品開発、販売促進などによる経営の持続安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産振アドバイザー制度を活用した販売力強化のための研修会に茶生産者が参加（4回） ・2事業者が HACCP 研修に参加 <p>(株)ビバ沢渡による拠点施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備にかかる事業計画、流域誘客プラン等策定に向けた関係者協議を定期開催 ・拠点施設整備予定地付近の交通量調査の実施（8月） ・仁淀川町内のイベントにおける新メニュー（沢渡茶スムージー）の試験販売による消費者ニーズ調査の実施（10/2）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	(株)ビバ沢渡の販売額 (H28. 2～11 月) : 22,918 千円 (前年同期比 132%) [課題と今後の対応] ・ (株)ビバ沢渡の販売拡大に向けた拠点施設整備 ⇒本年度末の産振総合補助金審査会に向け協議を加速 ⇒沢渡茶を活用した飲食メニュー等の開発

2 平成 28 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況 (交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
No. 15 宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化 (土佐市)	・加工施設の増改築及び加工機器の導入により高度な衛生管理 (高知県版 HACCP の取得) の実現及び加工処理能力の向上を図り、さらなる地産外商の推進、販路拡大につなげる。	69,918 (32,369)
No. 22 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進 (佐川町)	・牛乳製造設備の整備により高度な衛生管理 (高知県版 HACCP の取得) の実現と生産能力の向上を図ることで、県外を中心に販路拡大を進め、酪農家及び菓子等加工事業者の所得向上、地域雇用の拡大につなげる。	32,187 (14,865)

3 県民参画に向けた取組

- ・日高村商工会総会で第 3 期計画の説明 (5/19)
- ・越知町商工会総会で第 3 期計画の説明 (5/20)
- ・土佐市商工会総会で第 3 期計画の説明 (5/23)
- ・いの町観光協会総会で第 3 期計画の説明 (5/24)
- ・いの町商工会総会で第 3 期計画の説明 (5/26)
- ・高知県版 HACCP 研修受講の働きかけ (企業組合宇佐もん工房、(有)高知アイス、本川手箱きじ生産企業組合、利休、(有)吉本乳業)
- ・四国銀行各支店長等と地域本部との情報共有会議での第 3 期計画の説明 (7/4)
- ・高知銀行各支店長等と地域本部との情報共有会議での地域アクションプランの進捗状況等の説明 (10/26)

4 相談案件：6 件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	5/25	農業	自然薯の生産・販売促進
2	5/30	観光	仁淀ブルーの PR・情報発信
3	7/5	観光	幕末維新博での地域の歴史史料展示

4	7/22	商工	紙製品の店舗の建設、販売促進（地域A P外）
5	9/1	商工・観光	カットフルーツ・スイーツ販売施設の整備及び観光ツアーとの連携
6	12/5	観光	吟醸酒蔵建設（企業誘致）に伴う蔵見学棟及び物販コーナーの建設